

① 研究業績

1. 著書（3本）

于臣、「渋沢栄一と『論語』」江藤茂博（編著）ほか12名共著『講座 近代日本と漢学 第8巻 漢学と東アジア』（2020）戎光祥出版

于臣、「中国メディアによる報道と渋沢栄一のジレンマ—1914年の中国訪問を手掛かりに」飯森明子（編著）ほか8名共著『国際交流に託した渋沢栄一の望み：「民」による平和と共存の模索』（2019）ミネルヴァ書房

于臣、「近代中国の『孔教』論と『論語と算盤』」町泉寿郎（編著）ほか7名共著『渋沢栄一は漢学とどう関わったのか—『論語と算盤』が会う東アジアの近代』（2017）ミネルヴァ書房

2. 学会発表（2本）

・“*Mu Ouchu's Views on Shiye and Shiyejia: Comparison with Zhang Jian*” 于臣、東アジア文化交渉学会、エアランゲン（ドイツ）、2019年05月

・“*Zhang Jian and the Transfer of Western Business Methods through Japan into China*” 于臣、The Business History Conference、Portland、2016年04月

3. 研究会（2本）

・「近代中国の実業家からみる「伝統」と「近代」」于臣、近代東アジアにおける実業家の果たした役割に関する総合研究会、横浜国立大学国際教育センター、2018年07月

・「中国からみる渋沢栄一」、「渋沢栄一と国際交流」于臣、第5巻研究会、国際文化会館、2017年12月

4. シンポジウム（3本）

・「近代中国の「実業」と「実業家」についての一考察—張謇と穆藕初の言説を中心に」于臣、国際シンポジウム「東アジアの近代と実業家の役割」、北京外国語大学、2019年02月

・「近代中国実業家の自治思想—穆藕初の言説を中心に」于臣、国際シンポジウム「東アジアの近代と実業家の役割」、啓明大学校（韓国）、2019年01月

・「近代中国の「孔教」論と『論語と算盤』」于臣、シンポジウム「渋沢栄一と三島中洲」、倉敷市立美術館、2017年01月

②学内活動

- ・全学教育部会（2018年04月～2021年03月）
- ・教育学部（教育人間科学部）国際交流委員会（2013年04月～現在）
- ・教育開発・学修支援部会（2016年04月～2017年03月）